

## 海洋理工学会平成7年度秋季大会

### 「国連海洋法時代における海洋生物資源研究と応用」

期 日：平成7年10月27日(金)

会 場：学士会館

(東京都千代田区神田錦町3-28 電話 03-3292-5931)

主 催：海洋理工学会協賛学会：日本海洋学会，日本水産学会，日本気象学会，日本造船学会，日本機械学会，応用物理学会，海洋調査技術学会，航空宇宙水産海洋研究会，電子情報通信学会，テレビジョン学会，計測自動制御学会，電気学会（予定を含む）

参加費：一般3,500円，一般学生2,000円，正会員1,500円，学生会員1,000円

プログラム：

#### 9:30-12:00 公開講座 「国連海洋法」

コンビーナ：奥原敏雄（国士館大学政経学部）

講演：

9:30～9:40 主旨説明 奥原敏雄（国士館大学政経学部）

9:40～10:50 「国連海洋法条約の発効と深海底開発制度」  
近藤哲生（外務省経済局海洋法本部海洋課）

10:50～12:00 「国連海洋法条約と漁業」  
弓削志郎（農林水産省水産庁漁政部企画課）

#### 13:00-17:30 シンポジウム 「衛星マルチセンサーデータの利用」

コンビーナ：松村皐月（遠洋水研）福島 甫（東海大開発工）江淵直人（東北大理）

13:00～15:00

(1) 水色衛星データを中心とした広域海洋生物学の動向

—趣旨説明に代えて—

松村皐月（遠洋水研）

(2) 衛星による海上風の観測と表層混合過程

江淵直人（東北大理）

(3) 衛星海面高度計による海洋循環場の推定

久保田雅久（東海大海洋）

(4) エンドユーザー指向の衛星データアクセス法

—データ検索から週・月平均値画像入手まで—

福島 甫（東海大開発工）

休憩

15:20～16:50

(5) 水温・水色衛星画像を用いた植物プランクトン分布の変動機構の研究

斉藤誠一（北大水産）

(6) 衛星海面高度計による海況解析—三陸沖漁海況情報を主として—

友定 彰（東北水研）

(7) 水温・水色と魚群分布の関係—ADEOS/OCTS 利用計画—

為石日出生（漁業情報サービスセンター）

16:50～17:30

(8) 総合討論—総合的な生物資源研究のために何が必要か

17:40～19:00 懇親会